



「Present (プレゼント)」

教頭 山口 勇

今年もあと1か月で、新しい年を迎えようとしています。皆様にとって2020年はどんな1年だったでしょうか。東京オリンピックとパラリンピックの延期、緊急事態宣言の発令と新型コロナウイルス関連の出来事が多かった1年でしたが、将棋の世界では藤井聡太さんが史上最年少で「二冠」を達成するという明るい話題もありました。1冠目となる「藤井棋聖」となった翌日記者会見にあらわれた彼は、獲得後に揮毫した「探究」の色紙を掲げ、「将棋は本当に難しいゲームで、まだまだ分からないことばかり。これからも探究心を持って盤上に向かっていきたい」と述べています。偉業を達成しても17歳11カ月の彼にとってはただの「通過点」であり、これからの大きな可能性と飛躍を感じられる力強い言葉でした。その後、彼はすぐに二冠保持と八段への昇段を果たしています。活躍の場は違いますが、彼と同世代の北陽台生徒の受験勉強や部活動等に懸命に取り組む姿を思い浮かべ、改めて高校生の無限の可能性を感じることができました。

さて、先日本校ラグビー部は、第100回全国高等学校ラグビーフットボール大会長崎県予選大会決勝において、長崎南山高校に36対15で勝利し、3年連続19回目の「花園」出場を決めました。県立進学校の限られた時間や環境の中で、全国レベルの競技力を示した部員やマネージャーの皆さん、保護者会の皆様、品川監督、浦コーチ、関係された全ての皆様に敬意を表するとともに、感謝を申し上げます。本校ラグビー部の競技力は、その後の九州代表枠をかけた九州大会決勝での長崎南山高校の圧勝を考えれば、その高さが証明されたと思っています。全国大会「ベスト4」の目標の達成に向け、更にチームの団結力を高め、全国の舞台でその力を存分に発揮してほしいと思います。ラグビー部の活躍が学校全体に勢いを与え、これからの大学入学共通テストや2021年の追い風となることを期待しています。

ラグビー部のほかにも、文化部では、放送部の2部門での九州大会出場、生物部の日本学生科学賞県審査における2つの最優秀賞獲得、全国総文祭における吹奏楽・自然科学両部門での文化連盟賞獲得。運動部では、陸上競技部(女子やり投げ)の全国大会出場、テニス部男女団体・陸上競技部の九州大会出場、高校総体駅伝競走大会における男子チームの6位入賞、県新人大会における登山部の男女アバック優勝、テニス部女子団体の2位、テニス部男子団体の3位などそれぞれの部が輝かしい成績を残しています。また、3年生はそれぞれの進路実現に向け取組を強化しています。後輩の活躍同様に、その努力はきっと報われると信じています。これからは体調管理に十分に留意し、本番を迎えてほしいと思います。

2021年という新しい年に社会はどう変化し、それぞれの人生がどのようになるか誰にも分かりません。そのために今この瞬間になすべきことを一生懸命やってほしいと思います。「過去」を振り返りすぎて自己嫌悪におちいる必要はありません。「未来」を考えすぎて不安を感じる必要もありません。「今」を大切にしてほしいと思います。そうすれば望む未来が必ずやってきます。英語で「今」はPresent (プレゼント) と言います。Present (プレゼント) の意味に「今」があるのは、神様が「今」を大事にしてくださいと私達にプレゼントしてくれたのかも知れません。新しい年が皆様にとって笑顔で溢れる年となることをお祈り申し上げます。

＝ 令和2年度後期生徒総会＝

11月5日(木)に実施した『令和2年度後期生徒総会』では、TEAMSを利用して、今年度の前期活動報告をはじめ、後期の活動予定、各専門委員長による所信表明などを実施しました。また、先日行ったアンケートで寄せられた生徒からの意見・要望に対する回答も行われました。

実際の討議はできませんでしたが、充実した内容だったと思います。次年度に向けて、今後ますます本校の生徒会活動が活性化していくことを期待します。

～生徒会長から一言～

今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のために各クラスで話し合う形となりました。前例のない形式でしたので準備の際には戸惑いもありましたが、いつも陰で支えてくれている優秀な生徒会役員が手際よく準備を手伝ってくれたおかげでスムーズに進行できました。結果は賛成多数だったと言えども、すぐに実現とはいきません。ですが、皆さんの意見は先生方に届いています。先生方の議論がまとまるまでしばらくお待ちください。

(2年7組 久田脩平)

☆ 理数科講義および課題研究中間発表会 (理数科1・2年生) ☆

11月10日(金)5校時に、理数科1・2年生を対象とした理数科講義が行われ、「全固体二次電池～期待と課題～」と題して、長崎大学大学院工学研究科 山田博俊 准教授より講話をいただきました。

また、6校時には理数科2年生が課題研究中間発表会として3名の長崎大学の先生方の前でポスター発表を行い、様々な指導助言をいただきました。発表会後の7校時にはプレゼンテーション講習会があり、いよいよ3月3日(水)の最終発表会に向けての準備に入ることになります。

～生徒の感想文から～

「理数科講義を終えて」

講義の最初に先生がおっしゃった、「これからは“何をどのように学んだか”が重要」という言葉が心に響きました。リチウム二次電池に関して詳細な構造を知ることができ、ますます興味が湧きました。

「中間発表会を終えて」

自分たちの中では今できる最高の状態で今日を迎えたが、まだまだ足りない部分があった。いただいた意見を参考に改善して追加実験を行い、時間を有効に使って3月の本番までに素晴らしいものを作りあげたい。

「プレゼン講習会を終えて」

今までプレゼンは自分の研究を伝え、その内容を発信するだけと思っていたが、研究内容や考え、提案を相手にプレゼントする行いだと知り、納得した。これからは話す側としてだけでなく、聞き手としても内容をしっかり理解しながら聞くことにも頑張ってみようと思った。



各学年より

1 学年

「基礎を固めよう」

1 学年主任 下村かおり

今月中旬に文理選択の最終確認を行いました。7月の三者面談で一度確認しましたが、その後の総探学習、消費者教育 (SDGs 講演)、その他様々な刺激を受けて自分の進路について更に思索を深めてきたのではないかと思います。今年度はコロナ禍で学校生活においても例年には見られない対応を余儀なくされる場面も多々ありましたが、北陽台に入学して早8ヶ月。時は確実に流れています。自分の進路を確定して北陽台を巣立つ日が必ずやってきます。1年次に学ぶ事項は、学習・生活両面において今後の土台となる非常に大切なものです。磐石な基礎を築くために、周囲に惑わされることなくしっかり自分と向き合い、考えて、責任ある行動をとってほしいと思います。

2 学年

「挨拶について考える」

2 学年主任 守 慶直

先日、高校生さわやか運動の一環として、生徒会執行部と風紀委員による挨拶運動が実施されました。私も一日だけ参加して様子を見ましたが、生徒同士ということで緊張もあるのか、もう少し元気な挨拶がほしいと感じる場面もありました。しかし、ほとんどの生徒が顔を上げて挨拶をしてくれ、朝から頑張ろうという気持ちになりました。

挨拶は他人とのコミュニケーションの中でも基本中の基本であり、お互い気持ちよく生活したり、物事を円滑に行うためには欠かせないことのひとつです。学校生活はもちろんのこと、社会に出てからはより一層その大切さを身をもって感じるようになることでしょう。

『挨拶』という言葉は『挨 (ひら) く』と『拶 (せま) る』から成る言葉で、禅宗の、問答を交わして相手の悟りの深さを深淺を試みる『一挨一拶』が由来だそうです。本来はどちらの言葉も『押す、近づく』といった意味があるそうなのですが、『心を開 (ひら) いて相手に迫 (せま) る』と考え (『迫る』というと威圧感がありますが…)、お互いが心を開いて歩み寄り、そんな気持ちで挨拶を交わし、毎日を気持ちよく過ごせるといいですね。

3 学年

「画竜点睛」

3 学年主任 林 圭介

寒さも随分と強まり、冬本番という感じになってきました。共通テストに向けた準備はどうでしょうか。11月は模試が続きましたが、結果に一喜一憂するのではなく、浮き彫りになって目の前に現れた、自分の弱点を克服する方法を積極的に試していかなければなりません。全員が平等に限られている時間を有効に使ってください。いかに後悔することがないように仕上げをしていくかが、最大の課題です。頑張ってください。

12月の後半からまた模試が連続して実施されます。そこを目標に力をためて、しっかりと飛躍できることを期待します。厳しく辛い日々が続きますが、みんなで最後まで目標に向けて努力をしていきましょう。



部活動等の活動成績 ～今秋の実り～



部活動	陸上競技部	◎長崎県高等学校総合体育大会 駅伝競走 男子第6位、女子第14位 ◎全国高等学校陸上競技大会 2020 やり投げ 18位 平松委徳里 ◎全国高等学校リモート陸上競技選手権大会 やり投げ 26位 平松委徳里 ◎全九州高等学校新人陸上競技大会 走幅跳 6位 藤家尚平 走高跳 8位 岩坪 立 8種混成 9位 相川騎良 三段跳 10位 藤家尚平 ◎長崎県高等学校新人体育大会 陸上競技 男子団体総合3位 男子 走高跳 1位 岩坪 立 九州大会出場 走幅跳 1位 藤家尚平 九州大会出場 8種混成 2位 相川騎良 九州大会出場 三段跳 3位 藤家尚平 九州大会出場 女子 100mH 1位 部原 ひな (九州大会出場)
	登山部	◎長崎県高等学校新人体育大会 登山競技 男子優勝 (14連覇)、女子優勝 (5連覇)
	テニス部	◎第43回全国選抜テニス競技長崎県大会 男子団体 準優勝 (九州大会出場) 女子団体 優勝 (九州大会出場) ◎長崎県高等学校新人体育大会 テニス競技 男子団体 第3位 個人ダブルス 3位 女子団体 準優勝 個人ダブルス 3位 個人シングルス 3位・5位
	ラグビー部	◎第100回全国高等学校ラグビーフットボール大会長崎県大会 優勝 (全国大会出場)
	生物部	◎第64回日本学生科学賞長崎県審査 最優秀賞 「フトヘナタリの木登り行動の解明 ～なぜ登る?その適応意義を考える～」 (中央最終審査進出 12/23~24) 最優秀賞 マキガイイソギンチャクの研究 ～マキガイイソギンチャクとアラムシロの種間関係は「便乗」ではなく「相利共生」?～
	放送部	◎第42回九州高校放送コンテスト長崎県大会 テレビ番組部門 優秀賞 朗読部門 優秀賞 吉村美音 (九州大会出場)
	写真部	◎長崎県高等学校総合文化祭 第16回県写真展 (高校写真展) 佳作 野道くれは

<12月の主な行事予定>

1日(火) 答案採点日	19日(土) 県下一斉実力テスト (1, 2年)
5日(土) G-TEC (1・2年)	校外マーク模試 (3年)
土曜自学 (3年)	20日(日) 校外マーク模試 (3年)
11日(金) 健脚くらべ (1・2年)	24日(火) 大掃除、終業式
(予備日:15日(火))	25日(金) ・26(土)・28(月)
12日(土) 土曜自学 (3年)	冬季自学 (全学年)
18日(金)~23日(水) 三者面談	29日(火)~30日(水) プレテスト (3年)
(全学年:午後)	